# ☆☆56　受動態（基礎）

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

現在の文で、**主語が三人称単数（I・you 以外の１人，１つ）**のとき、**be 動詞は is** とし、**一般動詞には s または es をつける。**
（例）He likes TV.（例）Does he play tennis？（例）He doesn't like TV.

英文には、必ず動詞が１つある。つまり、**be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。**

ふつうの文（**能動態**という）の **「を、に」** を **主語（は、が）** にした文を、**受動態**という。

---

「私は**ボールを**投げた。」→**「を」を「は」**にします。「**ボールは**私に**投げられ**た。」となる。
これが受動態の文である。どちらの文も、**言い方は変わるけど、意味は同じ。**

**～は、…される（された）** と表す文を、受動態の文という。

**鬼（をに）を主語（は）に。**
（受動態の文を作るコツ）

---

**問題２９３**　受動態の文（～されます、～されました）を、完成させなさい。

(1) 私は、**夕食を**食べます。

**夕食は**、私に（よって）[　　]。

(2) 私は、**夕食を**食べました。

**夕食は**、私に（よって）[　　]。

(3) 私は、**本を**読みます。

**本は**、私に（よって）[　　]。

昨日お風呂そうじしたら、お母さんに褒められたんだよ。
これ↑、受動態の文ですね。

受動態の文は、なかなか一般的じゃないけれど、自然と使っている表現です。
「この表現、いつ使うの？」と思うかもしれません。確かに。
「ぼく、テレビ見たよ～」とは言うけれど、
「テレビ、ぼくに見られたよ～」って言いませんもんね。

「やっぱ、お母さんが作るひじきの煮物は、おいしいや！」はいいけど、
「やっぱ、お母さんに作られるひじきの煮物は最高だね！」だと、
ちょっと微妙ですよね。このように受動態の文は、しゃべり言葉では、ほとんど使われません。
（と言いながらも、この下線の文↑、受動態の文だと気づきましたか？）

受動態の文の公式と意味は、次のページです。**be 動詞を忘れないのがポイント(‘ω’)**

## 国語５：言い換えも、具体的に書けも、どういうことかも、すべてイコールだ。

言い換え・イコールを見つけ出そう。
「～とは、どういうことか。」
「～を、３５字以内で説明せよ。」
「～を具体的に答えよ。」などなど…

これらは結局、イコールで表現しなさい。ということです。これらが設問にあれば、「よし、同じ内容を見つけるよ～」と、思ってほしいです。

## 国語６：□に当てはまる語句を答える問題は、まず、状況を把握します。

イコール・言い換えを見つけよう。その２。

「幸治は、□のように、橋杭の一番高みに登り、立ち上がった。」

この□に当てはまる登場人物の名前を書け。」という問題があります。

「□のように～登り」とありますので、まずは、橋杭に誰かが登った場面を探せばいいのです。ちなみに登場人物を書け、なので、人間です。

ポイントは、「名前を答えよ」だからと言って、「誰かな誰かな」と、直球で答えを探すのではなく、同じような描写の場面を見つけることが、最初にやるべきことなのです。

「信男は、橋杭のてっぺんに登り」という文が、実は前のほうにあるのです。
（言ってなくて、ごめんなさい。）

このように、まず場所を特定します。あとは、その場面の中を、よく読みます。

設問の「幸治は、橋杭の一番高みに登り…、」と、本文の「信男は、橋杭のてっぺんに登り…」を並べて見ると、「一番の高み」と、「てっぺん」がイコールです。「登り」は、両方に共通です。

よって□には、信男が入る、と分かります。

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

# ☆☆56　受動態（基礎）

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

受動態は、be 動詞がポイントです。主語（～は）によって使い分けます。
現在…am か is か are です。「I・you 以外の１人，１つ」ならば is と覚えます。
過去…am と is の過去は was で、are の過去は were です。

TV や English のように、
主語が I・you 以外の単数なら is です。

**主語＋be 動詞＋過去分詞形…by 行為者.**　　※行為者が代名詞の場合、**３番目**を使う。

**主語は、～によって…される（された）**。　✿受動態の文にするコツ：**「鬼をに」を「は」**にする。

**問題２９４**　次の能動態の文の、**「を」を新しい主語**にして、受動態の文を作りなさい。

✿鬼（をに）を主語（は）に。
（受動態の文を作るコツ）

(1) He eats dinner.　（彼は**夕食を**食べます。）

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ by him.　＿＿＿＿、彼によって食べられます。
新しい主語　be 動詞　過去分詞　新しい主語

(2) He played tennis.　（彼は**テニスを**しました。）

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ by him.　＿＿＿＿、彼によってされました。
新しい主語　be 動詞　過去分詞　新しい主語

(3) He writes letters.　（彼は**手紙を**書きます。）

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ by him.　＿＿＿＿、彼によって書かれます。
新しい主語　be 動詞　過去分詞　新しい主語

(4) He studies English.　（彼は**英語を**勉強します。）

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ by him.　＿＿＿＿、彼によって勉強されます。
新しい主語　be 動詞　過去分詞　新しい主語

受動態の文は、be 動詞を使う文です。
be 動詞は、主語によって使い分けられます。
現在の文で、主語が I,you 以外の１人（１つ）ば、is を使います。
現在の文で、主語が we,they など**複数ならば、are** を使います。

✿ちなみに、dinner（食事）、English（科目）、Tokyo（都市名）などは、he,she と同じ、三人称単数扱い。→ **be 動詞は is** です。

I am と You are を除くと、新しい主語が…

✿**is か are か、was か were か…。**
１．単数ならば **is** で、過去は **was**、
２．複数ならば **are** で、過去は **were**。

**国語７：「答えは何かな？」と考える前にすること。それは、場所を特定すること。**

「二人の意見の衝突は、何の違いによって生じるのか、探して抜き出しなさい。」という設問があります。あなたなら、まず何をしますか？

私なら、場面を特定します。二人が言い争っている場面はどこかな？と考え、探します。

「何の違いによって、二人が衝突したのかな？」
↑共通Ａ
と、答えを直接探そうとしても、難しいです。

まず、意見の衝突だから、対立したやりとりがある場面を見つけるぞ。と思ってほしいのです。

ちなみに、衝突とは対比ですよね。対比とは、一つのＡに対して、意見などが分かれることです。だから、「対立意見ＢとＣがある場面を見つけたら、対立の原因となっている共通Ａを見つける」というのが、ツーステップを踏みます。
※このＡが答えです。

まとめ：
１．二人が対立している場面を見つけ出す。
２．周辺を読み、対立原因の共通Ａを探す。
　　というステップを踏みます。

出典「BUNGO-ブンゴ-」
二宮裕次氏　集英社　より

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

# ☆☆56　受動態（基礎）

四角語句を、線の上に
練習するでごんすよ。

受動態は、be 動詞がポイントです。主語（～は）によって使い分けます。
現在…am か is か are です。「I・you 以外の１人，１つ」ならば is と覚えます。
過去…am と is の過去は was で、are の過去は were です。

TV や English のように、
主語が I・you 以外の単数なら is です。

おさらい：be 動詞は、現在なら am is are、過去なら was were を使う。

❀受動態のポイントは、be 動詞の「使い分け」にあり、です。

現在か過去か：現在 am,is ➡ 過去 was　　現在 are ➡ 過去 were

| be 動詞：です、います、あります。 | | |
|---|---|---|
| 現在形 | 過去形 | 暗記方法 |
| am | was | am の「a」が共通。 |
| is | was | is の「s」が共通。 |
| are | were | are の「re」が共通。 |

問題２９５　次の能動態の文の、「を」を新しい主語にして、受動態の文を作りなさい。

❀鬼（をに）を主語（は）に。
（受動態の文を作るコツ）

(1) He plays soccer.　（彼はサッカーをします。）

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　played by ＿＿＿＿＿ .

(2) They don't watch TV.　（彼らはテレビを見ません。）

don't, doesn't, didn't を使わずに、その位置に、be 動詞を置きます。

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　watched by ＿＿＿＿＿ .　＿＿＿＿＿、彼らによって見られません。

(3) He doesn't eat cakes.　（彼はケーキを食べません。）

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　eaten by ＿＿＿＿＿ .　＿＿＿＿＿、彼によって食べられません。

(4) She didn't study English.　（彼女は英語を勉強しませんでした。）

by 行為者は、３番目で表す。
by him, by them, by me
のようにです。

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　studied by ＿＿＿＿＿ .

(5) He read books.

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　read by ＿＿＿＿＿ .

この問題295は、基本です。基本なのですが…
この問題295は基本です。でも５連勝した人は、過去２０年間で、３～４人です。
この受動態という単元は、私たちに改めて、基本の大切さを教えてくれます。

ふつうの文を、**能動態**（のうどうたい）と言います。一方、
能動態の「～を」「～に」を、主語「～は」にした文を、**受動態**と言います。
２つとも（能動態と受動態）、**言い方は違うけれど、同じ内容**なので、イコール関係です。

**国語８：意見とは、大元 A に対して、BCD …がある。この構造を理解します。**

対比のストーリーということは、共通の何か A がある、ということです。信念だったり，大切な物だったり，守りたい世界であったり…。

例１「建築様式は、西洋と日本では異なります。」という文ならば、建築様式が共通の話題 A です。

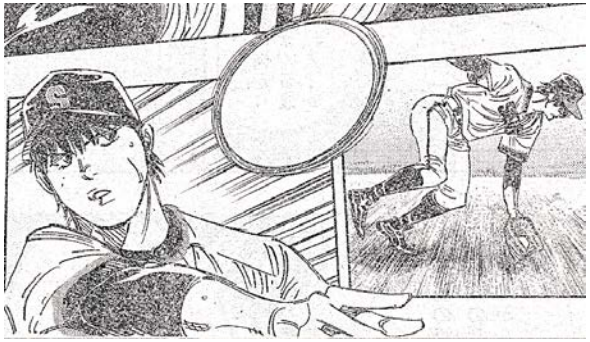
よって、「西洋と日本で、違うことは何ですか。」と聞かれたら、「建築様式です」と答えます。

このように、「違うことは何ですか。」に対して、「～です。」と、１つだけ答えます。１つだけ答えるこれが、だいたい共通 A です。

例２「二人が衝突したのは、何が違うからか？」と聞かれたら、衝突の場面を見つけ→現場周辺で共通 A を探します。　答え：信じている正義

まとめ：「違いは何ですか？」と聞かれたら。「違いは，違いは…」と、素直に探すのではなく、対立の描写がある場面に足を運び、その現場で、コナンくんのように、共通 A（違いを生んだ元）を探します。

以上のように、対立要素 BC とは、共通 A の特徴を、際立たせていることになるのです。つまり、主役は共通 A です。



出典「BUNGO-ブンゴ-」
二宮裕次氏　集英社　より

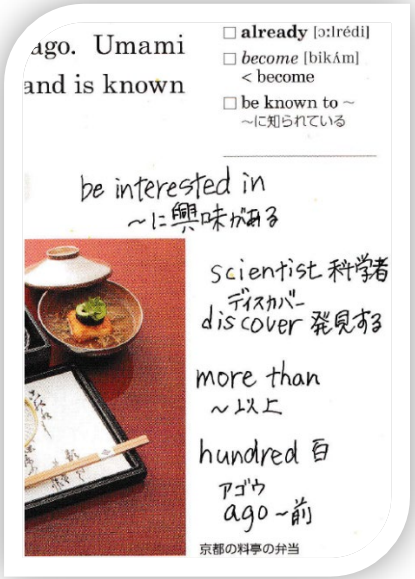
● 挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

# ☆☆56　受動態（基礎）

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

受動態：普通の文（能動態）と受動態は、言い方が違うだけで、同じ意味です。
よって、書き換えることができます。日本語が能動態で、英語の(　)(　)が多い場合、「英語のほうは、受動態にするんだな」と思うようにしてください。

能動態の「を、に」を主語「は、が」にすれば、受動態の文になります。




＜受動態の文の考え方＞

> 日本語訳の作り方よりも、関係性のほうを大事にしてほしいです。
> 受動態の文は、「主語は～される（された）」という**「関係性」が大事**なのであって、こう訳すことが大事なのではない。だから、日本語にするときは、「関係性を理解」できていれば、ふつうに訳すほうが、自然な日本語になることが多い。たとえば…

**This cake was baked by Aki.** のような、**受動態の英文を**、
「このケーキ、亜紀によって焼かれたんだよ。」と、**きっちり受動態で訳すと、ちょっと不自然**です。

そこは、「**このケーキ、亜紀が焼いたんだよ～。**」のように、**能動態で訳す**ほうが自然ですよね。つまり、
「だれだれが～します、～しました」と、臨機応変に訳して OK だと言うことです。内容は同じなのですから。

**小学校のころは、答えが１つになる勉強ばかりでした**ので、
その感覚が強い子は、まだ違和感があるかもしれないですが、頑張りましょう！

問題２９６　普通の態（能動態）の日本文を、受動態の英文にしなさい。

(1) 彼は、**サッカーを**します。

＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ played by ＿＿＿＿＿ .

(2) 彼は、**サッカーを**しました。

＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ played by ＿＿＿＿＿ .

(3) 彼らは、**テレビを**見ません。

＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ watched by ＿＿＿＿＿ .

(4) 私は、**手紙を**書きました。

Letters ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ by ＿＿＿＿＿ .

**鬼（をに）を主語（は）に。**
（受動態の文を作るコツ）

TV テレビ、dinner 夕食、
soccer サッカー、
English 英語などは、単数です。

よって be 動詞は、
is か was です。

現在の文なら is を、
過去の文なら was を選びます。

by 行為者は、３番目で表します。
by him, by them, by me
のようにです。

出典「BUNGO-ブンゴ-」
二宮裕次氏　集英社　より

● 不安なのは、勝つ可能性があるから。PK をはずしたのは、蹴る勇気があったから。

# ☆☆56　受動態（基礎）

四角語句を、線の上に
練習するでごんすよ。

受動態は、be 動詞がポイントです。主語（～は）によって使い分けます。
現在の文…am か is か are です。「I・you 以外の１人，１つ」ならば is と覚えます。
過去の文…am と is の過去は was で、are の過去は were です。

TV や English のように、
主語が I・you 以外の単数なら is です。

＜少し応用＞日本語の場合、「受動態の言い方」だと、不自然になる文が多い。しかし、
次の問題のように、「受動態」にした方が、自然な日本文もある。

問題２９７　文を完成させなさい。

(1) 英語は、世界中で話されています。

English _____ _____ in the world.

「～によって」が一般的な人の場合、by 行為者は、省略されます。

(2) 太郎は、亜紀のお母さんに話しかけられました。

Taro was _____ to by Aki's mother.

speak to 人：
～に話しかける。

✿能動態（ふつうの文）と受動態の文は、同じ意味内容である。
297(1)ならば、「世界中の人々が、英語を話しています。」と、ほぼ同じ意味である。

問題２９８　文を完成させなさい。do,does,did の位置に be 動詞を置く。

✿鬼（をに）を主語（は）に。
（受動態の文を作るコツ）

(1) They don't watch TV.

= _____ _____ _____ by them.

(2) He doesn't eat cakes.

= _____ _____ _____ by him.

(3) He didn't study math.

= _____ _____ _____ by him.

(4) Everyone likes me.

= _____ _____ _____ by everyone.

(5) He doesn't like me.

= _____ _____ _____ by him.

能動態の文を、
受動態の文にするときは、
「新しい主語に、
be 動詞を合わせる。」

受動態の否定文の作り方。
do,does,did を使わずに、
その位置に be 動詞を置く。
と覚えます。

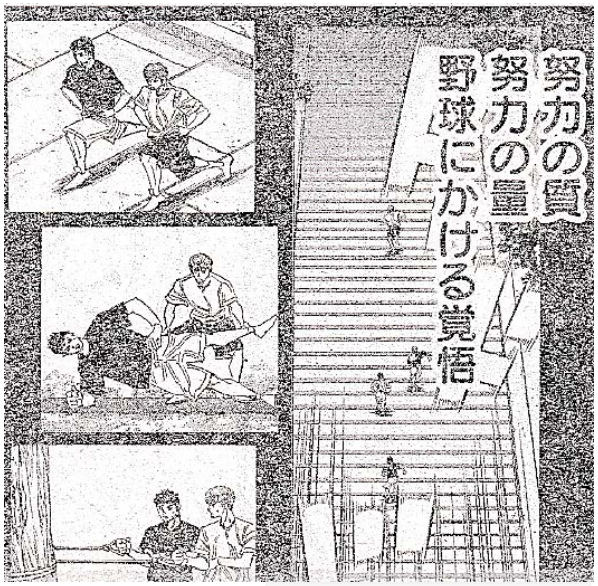
受動態の文は、be 動詞を使う。
よって、受動態の否定文は…
am not , is not , are not
was not , were not
になります。

**国語９：プラスマイナスは、逆接がない限り、原則、継続します。**

「楽しかった。また（　　）。」
ア　行きたいな　イ　行きたくないよ
という設問、「楽しかった」がプラスです。よって、（　）には、プラスの「ア」が続きます。

今回は、理論を知らなくても、「なんとなくできた」かもしれませんね。大切なことは、理論的に正解を導くことです。簡単なことを、簡単にやらないでほしいのです。「楽しかった」がプラスだな。こう、きっちり考えてほしいのです。

プラス→しかし→（　）なら、マイナスが続きます。このように、逆接の語句は大切ですので、見逃さないよう、本文中に逆接語句が登場したら、ぐりぐりしてみてください。
（テスト中にぐりぐりします）。




出典「BUNGO-ブンゴ-」
二宮裕次氏　集英社　より

● 信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。

**国語１０：文は、「抽象→具体」の順番で構成。筆者の意見は「抽象的」がメイン。**

「自分の意見を伝えたいなら、表現を工夫して良い。たとえば、外国人と話をするときは、言葉以外にも、身振り手振りを使えば良い。」

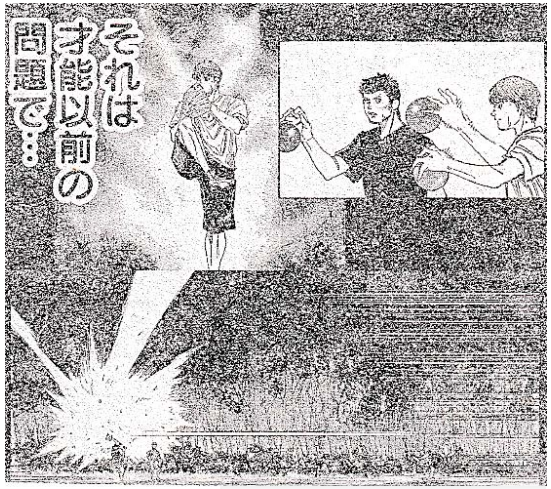
設問：筆者は、何が大切だと言っていますか。

前半の「自分の意見を伝えたいなら、表現を工夫して良い」が、答えの骨組みになります。抽象的だからです。そしてこの骨組みの中に、具体例（たとえば以降）から、１つ例を拾って入れるのがポイントです。

解答例：自分の意見を伝えたいなら、身振り手振りを使って表現を工夫することが大切だ。

となります。

筆者の意見を答えるときは、抽象的なところ（前半部分）をメインとし、具体例から一部を引用し、間に入れる。という型（パターン）を、ぜひ覚えておいてください。




出典「BUNGO-ブンゴ-」
二宮裕次氏　集英社　より

## ５６　受動態（基礎）［解答］

［解答］受動態（基礎）　５６

問題２９３ (1)食べられます
(2)食べられました
(3)読まれます

問題２９４ (1)Dinner is eaten 夕食は (2)Tennis was played テニスは
(3)Letters are written 手紙は (4)English is studied 英語は

問題２９５ (1)Soccer is / him (2)TV isn't / them テレビは
(3)Cakes aren't / him ケーキは (4)English wasn't / her (5)Books were / him

問題２９６ (1)Soccer is / him (2)Soccer was / him (3)TV isn't / them (4)were written / me

問題２９７ (1)is spoken (2)spoken

問題２９８ (1)TV isn't watched (2)Cakes aren't eaten (3)Math wasn't studied
(4)I am liked (5)I'm not liked

● 今一番、興味があること。「これからの自分！」。